



2026年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年12月15日

上場会社名 株式会社テクノロジーズ 上場取引所 東
 コード番号 5248 URL <https://technologies-group.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 良原広樹
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 宮内駿 (TEL) 03(6432)7524
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第3四半期の連結業績 (2025年2月1日～2025年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第3四半期	5,782	△31.1	728	△8.2	638	△13.9	78	△20.4
2025年1月期第3四半期	8,394	202.8	793	96.5	741	184.4	99	48.9

(注) 包括利益 2026年1月期第3四半期 457百万円(38.4%) 2025年1月期第3四半期 405百万円(72.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第3四半期	4.67	—
2025年1月期第3四半期	5.86	—

(注) 1. 2025年1月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。

2. 2026年1月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。

2. 2024年8月1日付で普通株式1株につき6株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年1月期第3四半期	19,711	4,660	6.8
2025年1月期	18,949	4,397	6.6

(参考) 自己資本 2026年1月期第3四半期 1,336百万円 2025年1月期 1,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年1月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年1月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年1月期の連結業績予想 (2025年2月1日～2026年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,339	△18.4	2,363	35.9	495
			2,230	36.8	29.28
				495	86.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一 、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年1月期3Q	16,922,400株	2025年1月期	16,922,400株
2026年1月期3Q	612株	2025年1月期	612株
2026年1月期3Q	16,921,788株	2025年1月期3Q	16,921,788株

1. 2024年8月1日付で普通株式1株につき6株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アメリカの関税政策の影響の懸念が続く中、国内需要の回復等による社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、円安の進行や物価上昇の継続により個人消費の下振れ懸念がされており、先行きは依然として不透明な状況がつづいております。また、少子高齢化や人口減少を背景に労働生産性の向上を図っていくことが課題となっており、既存システムの刷新やデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進によるIT投資需要が高まっております。

このような環境の下、当社グループは、「テクノロジーでより面白く、より便利な世の中を創造する」というビジョンのもと、映像ソフトウェア開発・AIといった技術領域や企業向けSaaS、太陽光発電設備の施工販売といったビジネス領域において、お客様にとって最大限の価値を創造できるようなサービスの提供に取り組んで参りました。具体的には、ITソリューション事業、SaaS事業、再エネソリューション事業、スポーツDX事業の4事業を展開しております。

当社グループは、ITソリューション事業において、主にエンタメ映像ソフトウェア開発やAI等のデジタル技術を利用したシステム・アプリケーション開発を中心とした売上を計上しました。SaaS事業においては、人材派遣会社向け管理システム「jobs」を中心に販売実績を積み重ねてきました。再エネソリューション事業においては、太陽光発電設備の施工・販売による売上を計上しました。スポーツDX事業においては、主にスポーツビジネスにおける企画、興行事業に取り組み、当四半期連結会計期間においては当該事業の一環として、初回となるイベントを実施いたしました。引き続き積極的な事業展開に邁進いたします。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高が、5,782,136千円（前年同四半期増減率△31.12%）、営業利益は、728,070千円（前年同四半期増減率△8.19%）、経常利益は、638,862千円（前年同四半期増減率△13.86%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、78,994千円（前年同四半期増減率△20.44%）となりました。なお、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、中間連結会計期間より、報告セグメントに「格闘エンタメDX事業」を追加しております。当第3四半期連結累計期間より「格闘エンタメDX事業」セグメントの名称を「スポーツDX事業」に変更しました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業においては、①エンタメ映像ソフトウェア開発、②AI等のデジタル技術を利用したシステム・アプリケーション開発を中心に展開しており、売上は概ね想定通りに推移しております。

その結果、売上高は、683,173千円（前年同四半期増減率△2.08%）、セグメント損失は、△41,390千円（前年同四半期増減率－%）となりました。

(SaaS事業)

SaaS事業においては、主に自社プロダクトである人材派遣会社向け管理システム「jobs」の開発及び販売をしております。

HRテックシステムとして、契約書や帳票作成などの煩雑的な業務をサポートすることに優れ、中小企業の業務効率化に貢献することに定評があります。現在、カスタマーサポートの体制強化による解約率の改善や、代理店経由による販路の拡大を行っております。SaaS事業部は事業開始から安定して新規顧客を獲得することができており、今後も中長期的に堅調な成長が見込まれると思われます。

その結果、売上高は、152,939千円（前年同四半期増減率38.61%）、セグメント損失は、△53,168千円（前年同四半期増減率－%、昨年同期額△116,779千円から△53,168千円へ減少）となりました。

SaaS事業から生まれる収益から、関連する費用を差し引いた直接的な損益は黒字ですが、固定費の各事業への配賦は人員数により行っており、SaaS事業の負担が大きいことから営業損益では赤字の結果となりました。

(再エネソリューション事業)

再エネソリューション事業においては、現在社会全体としてSDGsの達成や、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」の実現に向けた取り組みが注目され、成長が見込まれる同業

界において、長年の実績に基づくワンストップ体制でのサービスを提供しており、売上は堅調に推移しております。

その結果、売上高は、4,852,005千円（前年同四半期増減率△36.05%）、セグメント利益は、792,018千円（前年同四半期増減率△5.12%）となりました。

（スポーツDX事業）

スポーツDX事業は、体制の構築とともに事業を始動し、スポーツビジネスにおける企画・興行事業の積極的な展開を進めております。当第3四半期連結累計期間において初の主催イベント「GOAT」を開催し、本イベントの模様は地上波テレビにて放送されたほか、インターネット番組としても配信され、当該事業の認知向上及び将来的な収益化に向けた基盤構築に寄与しました。

その結果、売上高は、94,018千円、セグメント利益は、30,610千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、498,084千円減少（前連結会計年度末比△4.81%）し、9,847,705千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,917,939千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して1,259,749千円増加（前連結会計年度末比14.64%）し、9,863,774千円となりました。これは主に、土地が517,800千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて761,664千円増加（前連結会計年度末比4.02%）し、19,711,479千円となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は202,875千円増加（前連結会計年度末比2.28%）し、9,118,022千円となりました。これは主に、前受金の増加849,009千円等によるものであります。

固定負債は295,843千円増加（前連結会計年度末比5.25%）し、5,933,199千円となりました。これは主に、長期借入金の増加616,174千円等によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて498,719千円増加（前連結会計年度末比3.43%）し、15,051,222千円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて262,945千円増加（前連結会計年度末比5.98%）し、4,660,257千円となりました。これは主に、利益剰余金が78,994千円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.16ポイント増加し、6.78%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年3月14日の「2025年1月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2025年12月15日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	2,358,658	3,069,306
受取手形及び売掛金	3,238,967	1,321,028
商品及び製品	51,494	43,735
仕掛品	46,672	132,955
原材料及び貯蔵品	35,638	58,309
未成工事支出金	2,523,210	2,402,401
その他	2,103,933	2,832,795
貸倒引当金	△12,786	△12,827
流动資産合計	10,345,789	9,847,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	171,888	229,305
機械装置及び運搬具（純額）	518,528	788,872
工具器具及び備品（純額）	30,988	30,882
土地	6,372,865	6,890,666
リース資産（純額）	132,498	101,514
建設仮勘定	8,415	8,415
有形固定資産合計	7,235,184	8,049,656
無形固定資産		
のれん	44,931	42,580
その他	50,360	138,179
無形固定資産合計	95,292	180,759
投資その他の資産		
投資有価証券	30,470	52,537
長期貸付金	5,640	187,050
その他	1,246,757	1,403,090
貸倒引当金	△9,319	△9,319
投資その他の資産合計	1,273,547	1,633,357
固定資産合計	8,604,025	9,863,774
資産合計	18,949,814	19,711,479

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,527,432	586,018
短期借入金	4,035,445	5,101,976
1年内返済予定の長期借入金	835,469	984,963
1年内償還予定の社債	328,000	150,000
前受収益	118,275	193,772
未払法人税等	98,592	298,214
前受金	525,615	1,374,625
その他	446,316	428,453
流動負債合計	8,915,146	9,118,022
固定負債		
長期借入金	1,848,355	2,464,530
社債	285,000	170,000
リース債務	100,296	68,742
長期前受収益	1,888,485	1,825,528
訴訟損失引当金	260,000	259,559
資産除去債務	33,868	34,110
繰延税金負債	865,895	826,928
その他	355,453	283,798
固定負債合計	5,637,355	5,933,199
負債合計	14,552,502	15,051,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,300	630,300
資本剰余金	221,343	221,343
利益剰余金	403,870	482,864
自己株式	△328	△328
株主資本合計	1,255,186	1,334,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249	2,769
その他の包括利益累計額合計	249	2,769
新株予約権	13,384	10,640
非支配株主持分	3,128,493	3,312,668
純資産合計	4,397,312	4,660,257
負債純資産合計	18,949,814	19,711,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位:千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
売上高	8,394,813	5,782,136
売上原価	6,330,202	3,835,971
売上総利益	2,064,611	1,946,165
販売費及び一般管理費		
役員報酬	85,534	93,475
給与手当	252,211	304,582
支払手数料	301,715	111,697
その他	632,097	708,339
販売費及び一般管理費合計	1,271,558	1,218,094
営業利益	793,052	728,070
営業外収益		
受取保険金	5,374	22,595
受取利息	6,073	10,283
受取配当金	13	8
貸倒引当金戻入額	21,000	745
その他	35,303	17,550
営業外収益合計	67,766	51,185
営業外費用		
支払利息	82,699	108,791
その他	36,490	31,602
営業外費用合計	119,190	140,393
経常利益	741,628	638,862
特別利益		
固定資産売却益	11,622	32,867
移転補償金	23,204	—
特別利益合計	34,826	32,867
特別損失		
固定資産売却損	9,184	416
減損損失	—	18
固定資産除却損	0	0
手付金解約損	—	35,350
その他	—	5,846
特別損失合計	9,184	41,630
税金等調整前四半期純利益	767,270	630,098
法人税、住民税及び事業税	1,856	216,563
過年度法人税等	3,747	5,529
法人税等調整額	358,101	△42,471
法人税等合計	363,705	179,621
四半期純利益	403,565	450,477
非支配株主に帰属する四半期純利益	304,278	371,483
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,286	78,994

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
四半期純利益	403,565	450,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,441	7,411
その他の包括利益合計	1,441	7,411
四半期包括利益	405,006	457,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,728	81,514
非支配株主に係る四半期包括利益	304,278	376,374

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注1)
	再エネソリューション事業	ITソリューション事業	SaaS事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	4,815,636	697,691	—	5,513,327	—	5,513,327
一定の期間にわたり移転される財	2,560,993	—	110,340	2,671,334	—	2,671,334
顧客との契約から生じる収益	7,376,629	697,691	110,340	8,184,661	—	8,184,661
その他の収益(注2)	210,151	—	—	210,151	—	210,151
外部顧客への売上高	7,586,781	697,691	110,340	8,394,813	—	8,394,813
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	13,287	—	13,287	△13,287	—
計	7,586,781	710,978	110,340	8,408,100	△13,287	8,394,813
セグメント利益又は損失(△)	834,742	75,090	△116,779	793,052	—	793,052

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 「その他の収益」は、不動産賃貸収入等であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注1)
	再エネソリューション事業	ITソリューション事業	SaaS事業	スポーツDX事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	3,121,599	683,173	7,614	94,018	3,906,404	—	3,906,404
一定の期間にわたり移転される財	1,633,978	—	145,325	—	1,779,303	—	1,779,303
顧客との契約から生じる収益	4,755,577	683,173	152,939	94,018	5,685,708	—	5,685,708
その他の収益(注2)	96,428	—	—	—	96,428	—	96,428
外部顧客への売上高	4,852,005	683,173	152,939	94,018	5,782,136	—	5,782,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	20,627	—	—	20,627	△20,627	—
計	4,852,005	703,800	152,939	94,018	5,802,764	△20,627	5,782,136
セグメント利益又は損失(△)	792,018	△41,390	△53,168	30,610	728,070	—	728,070

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 「その他の収益」は、不動産賃貸収入等であります。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

中間連結会計期間において新たな事業の立ち上げに伴い、新たな報告セグメントとして「格闘エンタメDX事業」を追加しております。

当第3四半期会計期間より「格闘エンタメDX事業」としていたセグメント名称を「スポーツDX事業」に変更しております。当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
減価償却費	156,251 千円	219,629 千円
のれんの償却額	2,351〃	2,351〃